

要 請 書

中部市町村会

うるま市長	中村 正人	嘉手納町長	當山 宏	西原町長	崎原 盛秀
沖縄市長	花城 大輔	宜野湾市長	佐喜眞 淳	浦添市長	松本 哲治
北谷町長	渡久地 政志	読谷村長	伊波 篤	北中城村長	比嘉 孝則
中城村長	比嘉 麻乃				

令和8年7月22日

国土交通大臣
金子 恭之 殿

中部市町村会
会長 中村 正人

沖縄県中部地域の社会資本整備に関する要望について

謹啓、貴職におかれましては、平素より、沖縄県の振興発展に深い御理解と御支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、中部市町村会は、沖縄県の中中部地域である、沖縄市、うるま市、浦添市、宜野湾市、北谷町、嘉手納町、西原町、読谷村、北中城村、中城村の10市町村で構成されております。

中部地域は、面積が279.65k㎡と県全体の約12%を占めており、沖縄本島の中央部に位置している地理的特性から、県全体が一体的となるよう、北部地域、南部地域が有する都市機能と連携、補完し、県土を有機的に結びつけるための重要な役割を担っております。

一方で、米軍施設・区域が本地域の約25%を占めていることにより、住民の生活環境の整備や地域産業の振興を図る上で、大きな制約も有する地域となっております。

このような中、本地域の振興発展と活性化を促進するために、道路、港湾をはじめとする社会資本整備を引き続き積極的に進める必要がございます。

つきましては、地域経済の発展や地域住民の生活環境整備を図るため、下記事項への特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 中部地域の効率的な交通体系の整備
- 2 中部地域の港湾施設等の整備
- 3 無電柱化・道路緑化の推進
- 4 防災・減災、国土強靱化の推進
- 5 沖縄総合事務局の体制強化

1 中部地域の効率的な交通体系の整備

① 沖縄西海岸道路の建設整備推進について

北部と南部を結ぶ国道58号及びその周辺の交通混雑の緩和を図り、地域の活性化、地域振興プロジェクト並びに観光の支援に資する道路として、読谷道路及び嘉手納バイパス、浦添北道路Ⅱ期線、令和7年度に新規事業採択された宜野湾道路など、沖縄西海岸道路の建設整備を推進するようお願いいたします。

なかでも、読谷道路においては、平成13年度に事業化され事業進捗率49%、嘉手納バイパスにおいては昭和62年度に事業化され事業進捗率13%であり、未だ事業完了の目途が立っていないことから、両区間の事業完了に向け、早期整備を推進するようお願いいたします。

また、那覇市から中部方面への抜本的な交通渋滞解消に向けて沖縄西海岸道路（浦添南道路）についても、調査・検討へ着手をお願いいたします。

② 那覇空港自動車道の整備推進について

那覇空港自動車道は、沖縄自動車道と一体となって沖縄本島の骨格道路を形成し、各圏域間の時間距離を短縮するとともに、市街地を始め各地域において増大する交通需要への対応に向け重要な道路となっております。

県民生活や産業活動のみならず観光立県としての自動車交通を支え、中北部地区から那覇空港への交通事情の緩和のため、那覇空港自動車道全線の供用を早期に実現するようお願いいたします。

③ 国道58号北谷拡幅の整備推進について

国道58号の北谷区間は、沖縄本島のハシゴ道路計画において、沖縄自動車道、国道329号とともに南北を走る強固な3本柱として位置付けられており、重要物流道路にも指定されております。

現在、同区間には多くの観光・商業施設が立地し、米軍基地跡地開発等の地域開発プロジェクトも今後予定されておりますが、慢性的に渋滞（特に休日の渋滞が著しい。）が発生していることから、交通容量の拡大並びに沿道環境の改善が必要となっております。国道58号北谷拡幅がなされることで、沖縄本島中南部西海岸地域における交通渋滞の緩和が図られるとともに、那覇空港・那覇港と中部地域・北部地域へのアクセス性が強化され、沖縄県全体の活性化に寄与すると考えております。

つきましては、沖縄本島中南部西海岸地域の渋滞緩和及び活性化に寄与する国道58号北谷拡幅の整備を推進するようお願いいたします。

④ 国道58号の浦添拡幅の早期整備について

牧港補給地区に隣接する国道58号の区間では慢性的に渋滞が発生しており、平成29年度に開通した臨港道路浦添線、沖縄西海岸道路浦添北道路、県道浦添西原線港川道路と連携し、国道58号浦添拡幅整備がなされることで、抜本的な渋滞解消が図られると考えております。

つきましては、沖縄県全体の経済発展に大きく寄与するため、国道58号浦添拡幅の早期整備（完成形）を推進するようお願いいたします。

⑤ 国道329号西原バイパスの早期整備について

南風原バイパス、与那原バイパスの暫定供用が開始され、道路網の構築によって本島東西間の交通の利便性が向上しております。しかし、与那原(北)交差点での交通混雑が新たに発生し、周辺地域の町道の朝・夕の交通渋滞が頻発するようになっております。そこで、与那原バイパス整備と国道329号の立体道路の整備も併せて進めていく必要性があります。西原バイパス整備と立体道路整備をすることで、現在、抱えている国道329号の交通混雑の緩和に繋がり、それに伴って物流基盤の強化、産業振興、さらには、災害に強い交通ネットワークの形成など、地域経済の振興及び防災機能の強靱化が図られることから、西原バイパスの早期整備及び立体道路整備を推進するようお願いいたします。

⑥ 国道329号(仮)中城バイパスの整備について

国道329号は、沖縄本島東海岸を縦貫する唯一の主要幹線道路であり、その沿線周辺には、国際物流拠点として中城湾港新港地区が整備され、情報通信やものづくり分野などの主要産業の集積及び国際貨物等への物流・加工機能の付加価値を高める取組が推進されるなど、多角的な産業振興策が展開されております。

さらに、同湾港においては、県内の旺盛な観光需要による大型クルーズ船寄港回数の通増や近接市町村の海浜計画及び産業開発等に関係自治体や地域住民から強い期待が寄せられております。

つきましては、今後も沖縄本島東海岸地域の発展のため、国道329号(仮)中城バイパス(中城村・北中城村)の実現など国道329号の機能強化に向けた調査・検討作業を推進するようお願いいたします。

⑦ 国道329号沖縄バイパスの整備について

国道329号は、沖縄本島東海岸を縦貫する唯一の主要幹線道路で、県民に広く利用されているところですが、依然として、主要交差点で慢性的な渋滞が発生しており、渋滞回避の車両が生活道路を通り抜けるなど、安全・安心な住環境に影響を生じさせている状況にあります。

沖縄バイパス(沖縄市・うるま市)の整備は、国道329号の慢性的な交通渋滞の緩和や、物流の効率化、沖縄市北部地域の振興、安全・安心な住環境の実現にも寄与するものと期待しております。

つきましては、沖縄本島中部圏域の発展のため、沖縄ブロック新広域道路交通計画にて構想路線と位置付けられている沖縄バイパスの早期実現に向けて、着実に検討を進めるようお願いいたします。

⑧ ハシゴ道路ネットワークにおける東西連結道路の充実について((仮称)沖縄読谷線の整備、中部縦貫道路及び宜野湾横断道路の早期実現)

国道58号、県道浦添西原線、県道宜野湾北中城線や幸地インターチェンジの整備など、ハシゴ道路ネットワークの整備を促進するとともに、南北地域間・東西地域間の道路と一体となって機能する関連道路や沖縄自動車道への交通転換により国道329号、国道330号及び沖縄環状線の一部での混雑緩和が期待される池武当インターチェンジ(仮称)等の早期整備を図っていただきたい。

また、県道24号線バイパスは、北谷町ー沖縄市間の市街地を連結する重要な路線であり、渋滞解消・防災・地域活性化の面からも早期整備が必要です。

更に、沖縄中部地域においては、中央に広大な米軍基地が位置していることから、東西連結のハシゴとなる道路が十分とはいえない状況にあります。

特に、読谷村－沖縄市間については、米軍嘉手納弾薬庫地区により、沖縄自動車道とのアクセスや、沖縄市北部地域、うるま市中城湾地域とのアクセスなども迂回を余儀なくされており、このことは、日常的な移動のみならず、観光・物流の効率性を低下させ、さらには救急搬送といった緊急時の対応にも支障をきたしています。

また、中城村においては、中頭東部地区における地すべりの危険性が高い地域とされており、地すべりが起きた場合に宜野湾市と中城村を結ぶ県道や村道が寸断され、移動に多大な支障が生じていたことから、新たな道路整備が求められています。

つきましては、国道58号と沖縄自動車道などの柱となる道路を支える東西連絡道路の一つとして、県外における米軍施設の共同使用等による事例も参考にしながら、地元関係機関などとの連携のもと、沖縄自動車道沖縄北インターチェンジや国道329号から読谷村を結ぶ「沖縄読谷線」の道路整備を目的とした米軍施設の共同使用等の実現可能性について、関係機関との調整や必要な検討が進められるよう、日米両政府に対し地域の実情をお伝えいただき、国政の場から機運の醸成を図ってくださいますようお願いいたします。

沖縄県と関係市町村が策定した「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」において、広域的な幹線道路に位置付けられている中部縦貫道路及び宜野湾横断道路は、沖縄の新たな振興拠点として位置付けられている普天間飛行場跡地を通過し、中南部都市圏の骨格を形成するものである。普天間飛行場返還後の円滑な跡地利用の推進、ハシゴ道路ネットワークの構築を図るためにも、返還前の早い段階から中部縦貫道路及び宜野湾横断道路に関する検討を国、沖縄県及び市町村で行い、事業化に向けて取り組むようお願いいたします。

また、(仮称)宜野湾横断道路は、国道329号西原バイパス整備及び大型MICE施設誘致と相まって、東海岸と中北部の西海岸を繋ぐ重要な道路となり、物流、観光、地域振興、防災など多岐にわたって沖縄振興に寄与するものとなるため、普天間飛行場の返還を待つのではなく、沖縄自動車道から県道29号線を経て国道329号に至る区間だけでも前倒しで早急に事業化するようお願いいたします。

⑨ 沖縄自動車道におけるインターチェンジの整備について

沖縄自動車道は、県民の日常生活や産業経済活動を支援し、地域の振興発展と活性化を促進する上で、欠くことのできない社会基盤であります。

しかしながら、沖縄における基幹軸としての沖縄自動車道は、インターチェンジ付近で渋滞が発生している状況になっております。

つきましては、中部地域の交通渋滞を緩和し地域の振興発展と活性化を図るため、新規事業化された池武当インターチェンジ(仮称)の早期完成に向けて、事業を推進するようお願いいたします。

また、うるま市栄野比及び、既存の北中城村喜舎場スマートインターチェンジの機能拡充についても、早期の整備を推進するようお願いいたします。

更に、宜野湾横断道路の整備と並行して(仮称)中城インターチェンジの整備を推進するようお願いいたします。

⑩ 中部東道路の早期整備について

沖縄本島中部東海岸地域は、産業集積地である中城湾港新港地区や世界遺産勝連城跡をはじめとする風光明媚な観光資源が点在しておりますが、ハシゴ

道路ネットワークの空白地帯となっており、沖縄自動車道までの所要時間が長く、南部圏域や北部圏域との人流・物流円滑化の阻害要因となっております。

また、沖縄本島で消費される燃料油の約6割を供給する沖縄油槽所からの燃料輸送道路や中城湾港新港地区と那覇空港及び那覇港の重要港湾を結ぶ強固な物流道路の構築が喫緊の課題であります。

令和3年に策定された沖縄ブロック新広域道路交通計画で高規格道路としての役割が期待される構想路線に位置付けられた「中部東道路」の早期実現は、これらの課題を解決するばかりでなく、沖縄本島中部地域唯一の三次救急医療機関である県立中部病院への所要時間短縮を可能にすることや中部東海岸地域の渋滞解消に寄与するなど平常時・災害時を問わない道路として大変重要な道路になると認識しているところです。

つきましては、ハシゴ道路ネットワークに東西方向に連結する速達性の高く強靱な高規格道路が沖縄県の自立型経済の確立及び県民の生命財産を守る重要な道路として必要であることから、「中部東道路」の早期整備を推進するようお願いいたします。

⑪ 国道330号胡屋・中央地区交通結節点の早期整備について

国道330号は、沖縄市の中心市街地「胡屋・中央地区」と那覇市を結ぶ、中南部圏域の要衝となる道路です。

現在、当該地区では、国や県と連携しながら「胡屋・中央地区バスタプロジェクト」が進められており、沖縄市では、中心市街地の活性化を目指す、交通拠点のまちづくりに鋭意取り組んでいるところです。

つきましては、交通拠点整備による都市間の交流機会の創出、地域活性化、防災機能の拡充を図り、沖縄本島中部圏域の発展に資する「胡屋・中央地区交通結節点」の早期整備を推進するようお願いいたします。

⑫ 国道330号の渋滞・安全対策について

宜野湾市の東側を縦断する主要幹線道路である国道330号は、交差点における右折専用車線がないことなどにより、慢性的な交通渋滞が生じていることから、交差点の改良などの渋滞対策を推進するようお願いいたします。

とくに、宜野湾市のキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区において、令和7年1月に琉球大学病院が開院、また同年4月には琉球大学医学部が開学し、国道330号をはじめ周辺地域において、交通量が増加傾向にあります。普天間交差点付近は商業施設、住宅地の集積した地域であり、さらには普天間高校及び小中学校等が隣接していることもあり、歩行者も多い状況にあります。

また、普天間交差点周辺において地域活性化等を目的に普天満宮・普天満山神宮寺の地域資源の活用や宜野湾並松の再現など普天間飛行場周辺まちづくり事業を実施しております。

国におかれましては、普天間交差点における渋滞対策として、車線運用見直しや、右折車線の延伸整備を実施していただいておりますが、当該交差点は交通の要衝であり、中部地域における交通の円滑化を図るためにも、抜本的な渋滞解消のための改良が必要であることから、地元自治体と一丸となって検討に取り組んでいただくようお願いいたします。併せて、国道330号普天間交差点周辺地域において、無電柱化を推進するとともに、横断歩道橋のバリアフリー化、歩行者の安全性確保を含め、引き続き渋滞・安全対策の強化・推進をお願いいたします。

2 中部地域の港湾施設等の整備

① 中城湾港新港地区東ふ頭岸壁整備の早期実現について

東海岸地域に面する中城湾は、中部圏域の市町村にまたがる広大な海域を有しており、当該地域の物流・産業・交流を担う重要な経済基盤となっております。

その中でも国際物流拠点産業集積地域に指定されている中城湾港新港地区は、立地企業の増加に伴い、企業の生産活動を支援する物流機能の強化や効率的なサプライチェーンの形成や、那覇港との機能分担や有機的連携を推進し、両港の強みを活かすことで、海上輸送貨物の流通拠点として安定的・効率的な物流環境の構築が求められております。

また中城湾港新港地区の産業用地については分譲可能用地が僅少となっていることから、うるま市においては新たな産業用地の確保を図るため、産業基盤整備事業（仲嶺・上江洲地区（約 20ha））を推進しており、当該地域の重要性が更に大きくなり、物流及び港湾需要の増加が予想されます。

つきましては東海岸地域の強固な経済基盤の確立に向け、さらに沖縄県の自立型経済の確立のため、「中城湾港新港地区国際物流ターミナル整備事業」を着実に推進いただきますようお願いいたします。

② 中城湾港新港地区におけるクルーズターミナルの整備促進について

中城湾港新港地区は、沖縄県における物流拠点として整備されるとともに、国際物流拠点産業集積地域（沖縄うるま地区）及び総合静脈物流拠点（リサイクルポート）として指定されており、生産機能と流通機能の拠点として、沖縄本島東海岸地域の発展に貢献しております。

また、本県は、成長するアジア諸国の巨大マーケットに向けて、地理的優位性を有した物流・製造拠点として注目されていることに加え、観光需要の増加に伴うクルーズ船寄港数も伸びている状況となっております。

これらの背景から、中城湾港新港地区は、物流機能の強化拡充及びクルーズ船寄港に対応した港湾の整備が中部圏域の発展に不可欠となっております。

国においては、物流機能の強化拡充に向けた浚渫及び航路拡幅等の継続と、内外から訪れる観光客の交流機能を強化するクルーズターミナルの整備を要望します。

③ 東部海浜開発事業「潮乃森」の整備促進について

地域が強く期待し、沖縄県経済の着実な成長と沖縄振興に資するとともに、沖縄本島中部地域、沖縄本島東海岸地域の活力向上にも寄与する「潮乃森」のさらなる魅力向上と受け入れ環境の充実を図るため、マリーナにおける大型プレジャーボートの受け入れに向けた港湾計画変更に関する協議を進めており、実現すれば外国船の受け入れも可能となることから、CIQ 手続きの円滑化に向けた入国手続き簡素化及び関連予算に関する支援を要望いたします。

④ 浦添第一防波堤等の早期整備による西海岸開発促進について

那覇港浦添ふ頭地区では、那覇港管理組合と浦添市が連携し、都市近郊型海浜リゾートとして新たな賑わいを創出するため、令和10年度の工事着工に向けて「那覇港浦添ふ頭地区交流・賑わい空間整備事業」を推進しております。本地区の整備は、沖縄県全体に大きな経済効果をもたらすものであり、早期の効果発現が期待されております。一方で、当地区は外海からの波浪の影響を受けやすく、事業区域の安全性確保と安定した利用環境の創出のためには、十分な静穏度の確保が不可欠となっております。つきましては、静穏度確保に必要な浦添第一防波堤及び浦添第二防波堤の早期整備について、防衛省及び内閣府との連携を図り、着実に推進していただきますようお願いいたします。併せて、防波堤整備に必要な作業船停泊岸壁として活用される浦添ふ頭12号岸壁の早期整備につきましても、事業の一体的な推進の観点から、引き続きよろしく願い申し上げます。

3 無電柱化・道路緑化の推進

令和5年の台風6号により、長時間にわたる停電被害が発生したことを踏まえ、台風の被災頻度が高く、他地域からの支援を受けることが困難な離島地域をはじめ県内全域における安定的な電力供給網等の確保、災害時の緊急輸送道路等の安全性の確保及びリゾート地に相応しい良好な景観形成等を図るため、占用制限も含めた無電柱化の推進及び観光振興を目的に道路緑化等の推進をお願いいたします。

4 防災・減災、国土強靱化の推進

防災・減災、国土強靱化実施中期計画について、資材費・労務単価上昇により、これまで想定していた以上の事業費確保が必要となっていることから、例年以上の規模で予算を確保し、計画的に事業を推進する必要があります。また、能登半島地震のような地震災害や八潮市の事故等が日本全国どこでも起こりうる可能性があることを認識し、その教訓を踏まえ、切れ目なく継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めることが重要です。そのため、防災・減災、国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算については、予算編成過程で資材価格等の高騰等の影響を適切に反映し、八潮市の事故や頻発する災害も踏まえ、必要な予算・財源を通常道路予算とは別枠で満額確保していただきますようお願いいたします。

また、沖縄経済を支えるため、成長力及び国際競争力の強化、更には生産性向上の観点から、公共事業に関する予算について例年以上の規模で確保していただきますようお願いいたします。

5 沖縄総合事務局の体制強化

令和6年11月沖縄本島北部での豪雨災害や令和7年台風8号による大東島地方の大雨被害など、激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危険に即応するため、並びに中部地域の課題解決に資する本要望に記載する各事業の迅速な対応・推進のために、離島県である沖縄県では自治体間の連携は限界があることから、沖縄総合事務局開発建設部の体制の充実・強化や、災害対応に必要な資機材の更なる確保をお願いいたします。